

#4 キリストのからだの実際のためのブレンディング

サンクス・ギビング特別集会 2019/2/4-10

I. 神のエコノミーの最高峰は、キリストのからだの実際です。キリストのからだの実際は、完全に有機的なものです。

ローマ12:4 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、

5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。

II. 主の回復は、キリストのからだを建造するためです。こういうわけで、からだを認識することは、主の正しい回復です:

A. 召会はキリストのからだをその有機的な要因とします。キリストのからだがないければ、召会は命がなく、単なる人の組織にすぎません。

B. からだが、召会の内在的な意義です。からだがなければ、召会は何の意味もなさず、何の意義もありません。【月】

C. 長老は互いに牧養し合い、愛し合って、からだの生活の模範となるべきです。長老は互いに愛し合う必要があります。彼らの妻は互いに愛し合う必要があります。彼らは互いの子供たちを愛し合う必要があります。

D. 私たちはキリストのからだの実際を持つとするなら、キリストに私たちの心の中に、ご自身のホームを造っていただくかなければなりません。からだの実際は、内住のキリストに対する内なる経験です。

E. 主が緊急に必要としていることは、キリストのからだの実際が諸地方召会において表現されることです。からだの十分な表現がなければ、主は再来しません。エペソ1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満ちしている方の豊満です。

F. 主が必要としていることは、勝利者たちが神のエコノミーを完成し、キリストのからだを得て、彼の敵を打ち破ることです。勝利者たちがいなければ、キリストのからだは建造されることができません。そして、キリストのからだは建造されなければ、キリストは再来して彼の花嫁を迎えることができません。

G. 主の回復は、シオンを、すなわち勝利者を建造することです。彼らはキリストのからだの実際として、新エルサレムにおいて究極的に完成します。私たちは召会生活の中で、力を尽くして今日のシオンに到達しなければなりません。【火】

III. 神はからだを調和させられました。「ブレンディングされる」という言葉は、「調整される」、「調和一致される」、「調節される」、「ミングリングされる」ことを意味し、それは区別を失うことを暗示します: I コリント12:24 ところが、私たちの美しい肢体には、その必要はありません。神は欠けている肢体にさらに豊かな尊さを与えて、体を調和させられました。25 それは体に分裂がなく、各肢体が互いに同じ顧みを持つためです。

A. キリストのからだの実際のためにブレンディングされるために、私たちは十字架を経過し、その霊により、キリストを他の人に分与して、キリストのからだを建造しなければなりません。

B. ブレンディングが意味することは、私たちがいつでも立ち止まって、他の人と交わりを持つべきであるということです。私たちは、自分と組み合わされている他の聖徒たちと交わることなしに、何も行なうべきではありません。なぜなら、交わりは私たちを調整し、私たちを調和一致させ、私たちを調節し、私たちをミングリングするからです。

C. ある責任者の兄弟たちのグループはしばしば共に集まっていますが、ブレンディングされていないかもしれません。ブレンディングされることが意味するのは、キリストのからだのために、あなたが十字架を経過することによって、その霊によって物事を行なうことによって、キリストを分与するためにあらゆる事を行なうことによって、あなたが他の人に触れら

れるということ、あなたが他の人に触れるということです。

D. このようなブレンディングは、交際ではなく、個々の肢体、地域の諸召会、同労者、長老が享受し、経験し、あずかっているキリストのブレンディングです。

E. ブレンディングは、キリストの宇宙的なからだを建造して、神の大いなる喜びにしたがって、神のエコノミーの最終的な目標である新エルサレムを究極的に完成するためです。【水】

IV. 私たちは使徒の足跡に従い、すべての聖徒をキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたす必要があります。使徒は、推薦とあいさつによって私たちがキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたしました。それは、平安の神がサタンを私たちの足の下に踏み砕いて、私たちがキリストの豊かな恵みを享受するためです。ローマ16:1 私はあなたがたに、私たちの姉妹フィベを推薦します。彼女はケンクレヤに在る召会の女執事です。16 聖い口づけをもって、互いにあいさつし合いなさい。キリストのすべての召会が、あなたがたによるしく。20 今や平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます。私たちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にありますように。【木】

V. ブレンディングの目的は、私たちすべてをキリストのからだの実際の中へともたすことです: エペソ4:4 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。A. 私たちは手続きとしての地方召会の中にいて、目標としてのキリストのからだの実際の中へともたされる必要があります。

B. 主の回復の最高峰は、真に、実際に、真実に神のエコノミーを遂行することができ、それは神が物質的に多くの地方召会を生み出すためではなく、彼の有機体としての有機的なからだを生み出すためです。

C. 召会が一つパンであるというパウロの思想は、彼自身の発明ではありませんでした。そうではなく、それは旧約聖書の穀物のささげ物から取られました。穀物のささげ物の小麦粉のあらゆる部分は油と混ぜ合わされました。それがブレンディングです。I コリント10:17 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。

D. ほとんどだれもブレンディングについて語りません。なぜなら、これは非常に高く深くだけでなく、また非常に奥義的であるからです。それは物質的な事柄ではありません。私たちのブレンディングの意義は、キリストのからだの実際です。【金】

VI. キリストのからだの実際は、成就された神・人による団体の生活です。彼らは真の人ですが、彼らの命によってではなく、手順を経た神の命によって生きています。神の属性は彼らの美徳を通して表現されています。ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。

VII. キリストのからだの実際は、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る神・人が、キリストの復活の中で、三一の神と永遠の結合においてミングリングしている生活です:

A. 私たちが「ミングリングしている」という言葉を用いるのは、この生活がなおも進行しているからです。

B. このようなミングリングしている生活はキリストの復活の中にあります。そして、この復活の実際はその霊です。この復活は、究極的に完成された神を信者たちの中へと分け与え、死に打ち勝つ命を解き放って信者たちの中へともたします。

VIII. 成就された神・人によるこの団体の、ミングリングしている生活は、新しい天と新しい地における新エルサレムにおいて究極的に完成し、神の増し加わりまた表現となって永遠に至ります。【土】

Crucial Point①: 互いに愛し合い、牧養し合って、 キリストのからだを建造する

OL1: 主の回復は、キリストのからだを建造するためです。こういうわけで、からだを認識することは、主の正しい回復です。
OL2: 長老は互いに牧養し合い、愛し合って、からだの生活の模範となるべきです。長老は互いに愛し合う必要があり、彼らの妻は互いに愛し合う必要があり、彼らは互いの子供たちを愛し合う必要があります。

I コリント12:18 しかし今、神は各肢体を、それぞれ体の中に、彼の意図するままに置かれました。19 もし全部が一つの肢体であるとしたら、体はどこにあるでしょうか？

21 目は手に向かって、「私はあなたを必要としない」と言うことはできません。また頭は足に向かって、「私はあなたを必要としない」と言うことはできません。…25 それは体に分裂がなく、各肢体が互いに同じ顧みを持つためです。26 もし一つの肢体が苦しむなら、すべての肢体が共に苦しみます。もし一つの肢体が栄光を受けるなら、すべての肢体が共に喜びます。27 今や、あなたがたはキリストのからだであり、そして各自は肢体なのです。

I コリント13:4 愛は辛抱強く、愛は親切で、ねたみません。愛は誇ることがなく、思い上がることもありません。

5 それは無作法をしません。また自分の利益を求めません。それはいらだちません。また人の悪を数えたてません。

6 それは不義のゆえに喜ぶことをせず、真理と共に喜びます。

7 それはすべてを覆い、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐え忍びます。8 愛は決して絶えることはありません。

ヨハネ21:4 夜が明けたころ、イエスは岸辺に立たれた。…6 イエスは彼らに言われた、「舟の右側に網を下ろしなさい。そうすれば、いくらか捕れるだろう」。そこで、彼らは網を下ろした。すると、おびただしい魚のために、彼らは網を引き上げることができなかつた。…9 彼らが陸に上がると、そこに炭火があり、その上に魚とパンが置かれているのを見た。…11 シモン・ペテロは行って、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいになった網を陸に引き上げた。そんなに多かつたが、網は裂けなかつた。12 イエスは彼らに、「来て、朝の食事をしなさい」と言われた。

15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。

16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。

17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたは私を愛するか？」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。

16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。

17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたは私を愛するか？」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。

16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。

17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたは私を愛するか？」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。

16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。

17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたは私を愛するか？」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。

16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。

17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたは私を愛するか？」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

適用: 青年在職/大学院生編

I コリント12章にキリストのからだとからだの各肢体の異なる機能が述べられています。次の13章で愛が述べられています。これは、キリストのからだの建造のために、肢体が機能するための卓越した道が、愛であることを示しています。愛の中で建造のために機能するとは、ヨハネ21:15~17にある主を愛し、羊の群れである兄弟姉妹を愛して、彼らを牧養することです。特に召会の責任者は互いに愛し合い、牧養し合うことで模範となるべきです。

1. I コリント12章—キリストのからだと各肢体の異なる機能:

からだは多くの肢体から形成されており、互いに依存し合っています。肢体は各々異なる機能がありますが、すべて重要であり、欠くことはできません。召会生活の中で、あなたは顧みている兄弟姉妹についても、ある程度彼らに依存することを学んでください。例えば、あなたの仕事や研究のために少し祈ってもらうことができます。日本人は、幼い時から「人に迷惑をかけてはいけない」と教えられてきたので、人を顧みても、人に顧みられたくないという感覚が強くあります。この考えが間違っている訳ではないのですが、あまり強調すぎると、相互性を否定してしまいます。正常な人間関係は相互性の中で建て上げられます。

2. I コリント13章—愛の中で正しく機能する:

召会生活の中で機能する時、愛の中で、彼らのために祈り考慮して、彼らの霊的幸福を求めべきです。彼らの霊的幸福とは、彼らが十字架を経験し、己を否み、召会生活の中でキリストを経験し、からだを建造することです。しかし、天然の人は自分自身のことは求めても、霊的幸福を求めません。

ピリピ2:20 それは、あなたがたのことを本気で心配している私と同じ魂の人を、私は一人も持たないからです。21 人はみな自分自身のことを求めて、キリスト・イエスのこと(すべての聖徒たちを伴う召会に関すること)を求めないのです。

愛の中で兄弟姉妹を助けることは、神の愛を持って、彼らに対して親身になり、本気で心配し、霊的幸福を求め、彼らを彼ら自身のエコノミーから神のエコノミーに戻すことです。

3. ヨハネ21章—牧養する:

ペテロは主を愛していましたが、自分の天然の力に頼っていたので、三度主を否んでしまいました。そして、弱くなり失望して元の職業に戻ってしまいました。しかし、主はこのようなペテロを訪問して、朝食を用意し、共に食べました。その後、三度主は「私を愛するか？」と尋ねられ、三度「私の羊を牧養しなさい」と命じられました。主のこの牧養は優しい人性の育みと豊かな神性の養いに満ちています。

青年在職や大学院の兄弟姉妹は、主の模範と召会の責任者の模範に学び、牧養することを学んでください。そうすれば、将来、会社でも多くの異なった人々の面倒を見ることができる優れたマネジャーになることができます。

責任者の兄弟の証し: 安達兄弟姉妹が神戸に引っ越すことに関して、私たち夫婦は、彼らの娘である斉野平姉妹や斉野平兄弟とよく交わり、祈りました。斉野平兄弟姉妹の願いを聞き、彼らと良く祈りました。また祈った後の感覚を彼らとも良く交わりました。共に祈り交わる時、私は彼らが自分の両親であればどうしたいのかと、神の愛の中で検討しました。なぜなら、私たちは皆、神の家族であるからです。一昨年9月に、安達兄弟姉妹が神戸に来られた時に、斉野平姉妹と一緒にランチを取りながら、私は安達兄弟姉妹に負担をもって、はっきりと神戸に引っ越すことを勧めました。その後11月に、彼らは神戸で家を購入しました。安達兄弟姉妹は今、六甲学生センターの近くに住み、とても良く奉仕をしておられ、六甲地区には欠かせない奉仕者となっておられます。主を賛美します。

祈り: 「おお主イエスよ、私をキリストのからだの肢体として配置して下さったことを感謝します。私はからだの建造のために愛の中で正しく機能しなければなりません。愛がなければ、他の人を励まし慰め建造することはできません。神の愛で私を満たし、兄弟姉妹を愛して牧養することができますように。特に新人の兄弟姉妹を心にかけ、彼らのために祈り、人性の育みと神性の養いを持って牧養することができますように。キリストと召会が私の本業です。本業のゆえに副業であるビジネスや研究を祝福してください。」

Crucial Point②: キリストのからだの実際のため、 聖徒たちとブレンディングされ、三一の神とミングリングされる

OL1: 私たちは使徒の足跡に従い、すべての聖徒をキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたす必要があります。使徒は、推薦とあいさつによって私たちがキリストのからだ全体のブレンディングの生活の中へともたしました。それは、平安の神がサタンを私たちの足の下に踏み砕いて、私たちがキリストの豊かな恵みを受用するためです。

ローマ 16:1 私はあなたがたに、私たちの姉妹フィベを推薦します。彼女はケンクレヤに在る召会の女執事です。16 聖い口づけをもって、互いにあいさつし合いなさい。キリストのすべての召会が、あなたがたによろしく。20 今や平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます。私たちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にありますように。

OL2: ブレンディングが意味することは、私たちがいつでも立ち止まって、他の人と交わりを持つべきであるということです。私たちは、自分と組み合わされている他の聖徒たちと交わることなしに、何も行なうべきではありません。なぜなら、交わりは私たちが調整し、私たちが調和一致させ、私たちが調節し、私たちがミングリングするからです。

OL3: ブレンディングされることが意味するのは、キリストのからだのために、あなたが十字架を経過することによって、その霊によって物事を行なうことによって、キリストを分与するためにあらゆる事を行なうことによって、あなたが他の人に触れられるということと、あなたが他の人に触れるということです。I コリント 12:24 ところが、私たちの美しい肢体には、その必要はありません。神は欠けている肢体にさらに豊かな尊さを与えて、体を調和させられました。

OL4: このようなブレンディングは、交際ではなく、個々の肢体、地域の諸召会、同労者、長老が享受し、経験し、あずかっているキリストのブレンディングです。

OL5: ブレンディングの目的は、私たちすべてをキリストのからだの実際の中へともたすことです。I コリント 10:17 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。

OL6: キリストのからだの実際は、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る神・人が、キリストの復活の中で、三一の神と永遠の結合においてミングリングしている生活です。エペソ 4:4 一つからだと一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。

召会とからだの違いは何でしょうか？ 私たちは、神の召会は枠組みであり、キリストのからだは有機体であることを見る必要があります。リンゴの木を例証として用いることができます。木は枠組みであり、リンゴはこの木の有機的な本質です。…木はリンゴのためにあります。…召会は枠組みであり、リンゴの木のようにです。キリストのからだは召会の有機的な本質です。それは、リンゴがリンゴの木の有機的な本質であるようにです。これら二つは一つです。召会は、存在するための枠組みです。キリストのからだは、人々の満足のための有機的な内容です。

この高嶺(キリストのからだの実際が地方召会を通して現わされること)に到達するには、祈りによる以外に道はありません。…啓示録で、主が欲しておられるもの、主が建造しようとしておられるものはシオン、勝利者です。勝利者はシオンであり、そこに神がおられます。これが、神の聖なる御言における霊的な啓示の内在的な実際です。私たちは、主の回復とは何であるかを認識しなければなりません。主の回復は、シオンを建造することです。パウロの文書はこれを極みまで明らかにしています。これを過去に見た人は多くありません。

人の中には社会生活への願望があります。これは神が創造されたものです。そして最も健康な社会生活は召会生活です。ですから、あなたが召会生活の中で、キリストのからだの実際を持つように訓練することは、最高の社会生活を持つことを訓練することです。

リンゴがリンゴの木の木の本質であり、リンゴの木は外側の枠組みです。同様に、キリストのからだは召会の本質であり、召会は外側の枠組みです。リンゴの実がないリンゴの木は、人を引き付け、満足させる内容がありません。召会もキリストのからだの実際がなければ、或いは少なければ、人を引き付け、満足させることはできません。したがって、枠組みである召会生活の中に、キリストのからだの実際を持つことを訓練することは戦略的に重要です。

召会生活の中にキリストのからだの実際を持つための Crucial points(極めて重要な点)は、聖徒たちの間のブレンディングと神と人のミングリングです。

聖徒たちの間のブレンディング: ブレンディングは社会的交際ではなく、それぞれの肢体の経験したキリストのブレンディングです。あなたは個人的にキリストを経験するだけでなく、ブレンディングによって他の兄弟姉妹が経験し、享受したキリストにもあずかることができます。このような経験によって、あなたは個人の制限、家族の制限、世代の制限、国民性の制限から解放されて、さらに豊かにキリストを経験し、享受することができます。あなたは努力して、国際的なブレンディングを含み、様々なブレンディングに参加してください。

姉妹の証し: 私は聖美姉妹の結婚集会に参加するためにニュージーランドのオークランドに行きました。滞在中、ある全時間奉仕の家に接待されました。彼らは熱烈に私たち日本から来た5名の兄弟姉妹(聖美姉妹の家族以外)を熱烈にもてなしてくださいました。朝早くから夜遅くまで一日中、約1週間、接待してくださいました。この様子を見て、私ももっと兄弟姉妹を接待したい気持ちが掻き立てられたので、早速、韓国からの姉妹たちを我が家に接待することができ、ブレンディングを享受しました。

手順経た三一の神と再生され造り変えられつつある信者とのミングリング: あなたはどんな時も自分のミングリングされた霊を活用して、ミングリングが霊から魂の各部分、思い、感情、意志に広がるようにすべきです。

ブレンディングの秘訣は、十字架を経過し、その霊によってあらゆる事を行い、キリストを他の人に分与することです。十字架の殺す効果、その霊の供給、キリストの分与のすべては、ミングリングされた霊の中にあります。あなたは様々な種類のブレンディングが必要ですが、その中で必ずミングリングされた霊を活用すべきです。

たとえば、あなたの将来の大学や大学院を選ぶことで、あなたは心を主と兄弟姉妹に開いて交わる必要があります。交わりに基づいて、あなたはミングリングされた霊を活用して祈る必要があります。そうすれば、主はミングリングされたあなたの霊の中であなたを導かれます。

祈り: 「おお主イエスよ、召会の本質はキリストのからだです。私は召会生活の中で、キリストのからだの実際を拡大させる必要があります。そうすればこの実際のゆえに、新人たちが召会生活に引き寄せられるようになります。このために私は努力して、国際的なブレンディングを含むさまざまなブレンディングに参加します。ブレンディングする時に、ミングリングされた自分の霊を活用して十字架を経験し、その霊によって歩き、キリストを他の人に分与することができますように。」

I. 高い福音

第六題目 キリストは神である(上)

ヘブル 1:8 御子については、「神よ、あなたの御座は永遠であり、あなたの王国の杖は公正の杖です。」

聖書を理解し、神を理解する鍵は、イエス・キリストという方にあります。他にありません。多くの歴史家は彼を偉大な指導者と考え、多くの社会改革者たちは彼を人類の偉大な教師と見なしました。ナポレオンは、自分をアレキサンダー大王やジュリアス・シーザーやシャルルマーニュと同等の者で見なしましたが、イエスは彼らすべての上におり、別格であることを知っていました。初期のマルクス主義者たちはイエスが神であることを否定し、エンゲルスはイエスが存在したことさえ否定しました。しかし後期のマルクス主義者たちは、イエスをヨーロッパの歴史と文化から消し去ろうとするのは、無益で愚かなことであることを認め、イエスは「最も聖なる人物の模範」であると言いました。

キリストご自身による宣言

出エジプト記は、神の名は「私はある」であると告げています。イエスが「アブラハムが存在する前に、私はある」と言われた時、ユダヤ人たちは石を取り上げて、彼に投げつけようとしていました。彼らは、イエスがご自分を神であると言っておられるのを知っていたからです。偉大な「私はある」として、イエスは永遠にいつまでも存在する神です。

キリストの奇跡は、彼が神であることを証明する

キリストが神であることのもう一つの証拠は、彼が地上で行なわれた奇跡です。当時、学がありユダヤ人の教師であったニコデモは、もし神が共におられないなら、キリストが行なわれた奇跡をだれも行なうことはできないと告白しています。彼の三年半の務めの期間に、彼はらい病人をいやされました。また足の不自由な人をいやし、口の利けない者を利けるようにし、盲人を見えるようにし、死人をよみがえらせさせました。彼は悪鬼どもを追い出し、嵐を静めました。彼は五つのパンと二匹の魚で五千人を養われました。彼は水をぶどう酒に変え、海の上を歩かれました。彼は自然界を支配する力を持ち、悪鬼を追い出す権威を持っておられました。彼はこの力と権威を用いて、神の王国をもたらし、また弟子たちにこの力と権威を与えられました。旧約のある預言者たちは、奇跡を行なうことができました。しかしイエスのようには奇跡を行なうことができませんでした。イエスは死人をよみがえらせることができました。なぜなら彼は神であり、命の力を持っておられるからです。

彼は「私は復活であり、命である」と宣言されました。彼は、自然界にもサタンにもご自身が主であることを証明されました。ヨハネの福音書は、これらの奇跡は彼の栄光を現しており、彼が神の子であることを証明すると言っています。

キリストの言葉は、彼が神であることを証しする

彼は権威と命をもって語られました。多くの偉大なこの世の指導者たちは、後世に知恵の言葉を残しましたが、歴史において、キリストの言葉ほど多くの人の人生に影響を与えたものはありません。

ガンジーは「私は世の光である」と言うことができませんでしたし、アリストテレスも「私は道であり、実際であり、命である」と言うことができませんでした。この世の最大の哲学者であっても、せいぜい道を示すことができるだけで、自分が道であるとは決して言うことができません。しかしキリストは、「私は道であり、実際であり、命である」と言われたのです。一人のフランスの哲学者はかつて言いました、「もし福音書の記録が偽物だとしたら、その偽の記録をつくりあげた人は、必ずキリストご自身になる資格がある」。

詩歌 382 キリストを経験する — 命として

1. 栄光なるキリスト、 かみのえい光の表現！
とわに無限なるかみは、有限なひととなる。
(復)かみの化身キリストは、おく義 ゆたか、エンジョイ！
聖のせい、ひとのひと、 われ霊で受け継ぐ！
2. かみのゆたかさは、 ながうちにやどりぬ；
にく体もてあがない成し、いまその霊となる。
3. ちちのすべて継ぐ、 なれ、わが霊にありて、
じっさいのれいとして、なれを経験させる。
4. れいなることばは、 なが実さいもたらず；
ことば受け、霊触れなば、わがきょう給となる。
5. おおいのなにかお、 かがみとし栄光うつし、
ながかたちにわれ変え、れをあらわさす。
6. 聖となり、勝利得る、 みちはこのほかなし；
いのち触れ、霊に生きる、みちはほかになし。
7. なが霊しみわたり、 かく部分かみで満つ！
ふるきひと捨て、ともに かみの住まいとなる。